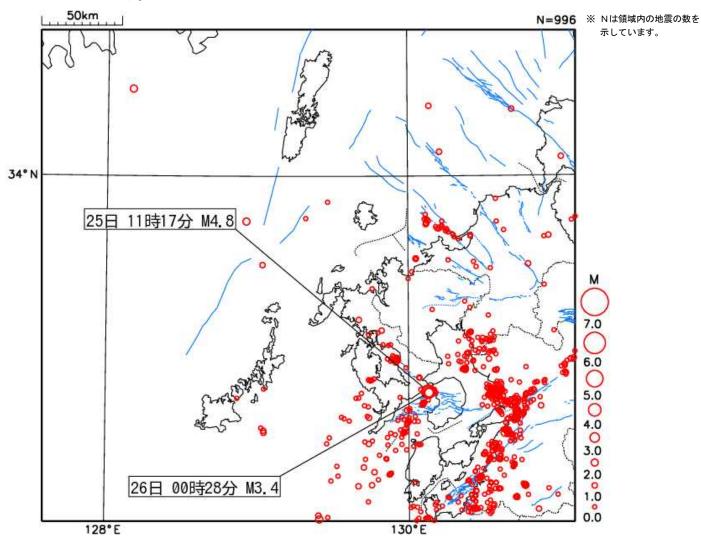
長崎県の地震活動概況(2025年7月)

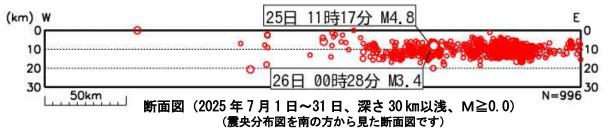
令和7年8月12日 長崎地方気象台

地震活動の概況(2025年7月)

7月に長崎県内で震度1以上を観測した地震は2回でした(6月は1回)。詳細は $2\sim3$ ページのとおりです。



震央分布図(2025年7月1日~31日、深さ30km以浅、M≧0.0) ※図中の青色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。



※ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、EarthScope Consortium の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

長崎県南西部、橘湾

25日11時17分に長崎県南西部で発生したM4.8の地震(深さ9km)により、長崎県の諫早市、雲仙市で震度4を観測したほか、九州地方、山口県で震度3~1を観測しました(図1)。また、26日00時28分に橘湾(情報発表に用いた震央地名は「長崎県南西部」)で発生したM3.4の地震(深さ8km)により、長崎県の長崎市、諫早市、大村市、雲仙市で震度2を観測したほか、長崎県と佐賀県で震度1を観測しました(図2)。

これらの地震の震央付近(図3領域a)は、日頃から地震活動がみられる領域で、2017年4月19日にM4.2の地震(深さ16km)が発生し、長崎県の長崎市、諫早市、南島原市で震度3を、2017年6月9日にM4.3の地震(深さ16km)が発生し、長崎県諫早市で震度4を観測しました。

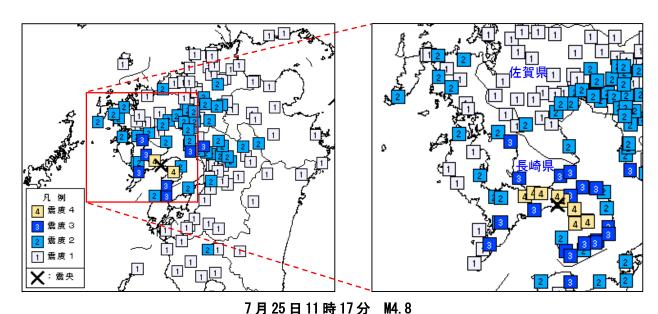
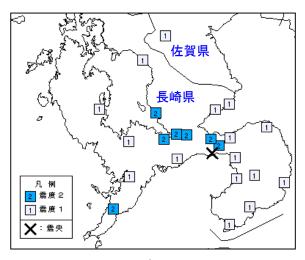


図 1 震度分布図 左:市区町村別 右:観測点別



7月26日00時28分 M3.4 図2 震度分布図:観測点別

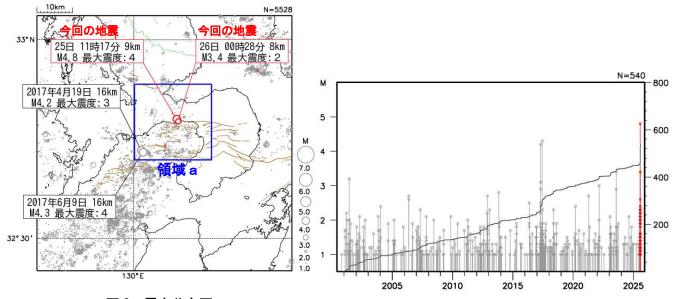


図3 震央分布図

(2000年10月1日~2025年7月31日 深さ0km~30km M≥1.0) ※2025年7月の地震を赤で表示。

※図中の茶色は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

図 4 図 3 領域 a 内の地震活動経過図及び 回数積算図

長崎県内で震度1以上を観測した地震の表(7月1日~31日)

地震発生時刻 震央地名 北緯 東経 深さ 規模 各地の震度

2025年07月25日11時17分 長崎県南西部

32° 48.0' N 130° 07.7' E 9km M4.8

震度 4: 諫早市東小路町,諫早市堂崎町*,諫早市多良見町*,諫早市森山町*

雲仙市小浜町雲仙,雲仙市千々石町*,雲仙市小浜町北本町*,雲仙市愛野町*

震度 3: 東彼杵町蔵本*,長崎市元町*,長崎市布巻町*,諫早市小長井町*,諫早市飯盛町* 諫早市高来町*,大村市玖島*,雲仙市国見町,雲仙市雲仙出張所*,雲仙市吾妻町* 雲仙市瑞穂町*,南島原市口之津町*,南島原市北有馬町*,南島原市西有家町* 南島原市布津町*,南島原市深江町*,南島原市加津佐町*,南島原市有家町*

震度 2: 佐世保市鹿町町*,平戸市志々伎町*,平戸市田平町*,松浦市志佐町*,川棚町中組* 佐々町本田原*,長崎市南山手,長崎市長浦町,長与町嬉里*,時津町浦* 西海市西海町*,島原市下折橋町*,島原市有明町*,雲仙市南串山町* 南島原市南有馬町*

震度 1: 佐世保市干尽町, 佐世保市八幡町*, 佐世保市江迎町*, 佐世保市吉井町* 平戸市岩の上町, 平戸市鏡川町*, 波佐見町宿*, 長崎市黒浜町, 長崎市野母町* 長崎市伊王島町*, 長崎市神浦江川町*, 西海市大瀬戸町*, 西海市西彼町* 壱岐市郷ノ浦町*

2025年07月26日00時28分 橘湾

32° 47.6' N 130° 07.9' E 8km M3.4

震度 2: 長崎市布巻町*,諫早市東小路町,諫早市堂崎町*,諫早市多良見町*,諫早市森山町* 大村市玖島*,雲仙市愛野町*

震度 1: 東彼杵町蔵本*,長崎市長浦町,長崎市元町*,諫早市小長井町*,諫早市飯盛町* 諫早市高来町*,長与町嬉里*,雲仙市国見町,雲仙市小浜町雲仙,雲仙市千々石町* 雲仙市吾妻町*,雲仙市小浜町北本町*,南島原市口之津町*,南島原市北有馬町* 南島原市深江町*

「防災の日」と「防災週間」 ~いつかくる災害に備えて~

9月1日は「防災の日」、8月30日~9月5日は「防災週間」です。

本期間は、国や防災関係機関をはじめ広く国民が、地震や津波等の災害についての認識を深め、これに対する備えを充実強化し、災害の未然防止と被害の軽減に資する目的で設けられています。

この機会に、身近で起こり得る災害を再確認するとともに、<u>日頃からの備え</u>や大きな地震が起こった時の**とるべき行動**を確認するようにしましょう。

〇日頃からの備え

地震への日頃からの備えには、「家具の固定や配置の見直し」「水や食料等の備蓄」 「避難場所や避難経路の確認」「建物の耐震診断や耐震化」などがあります。 自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう。



〇とるべき行動

地震による強い揺れを感じた時や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずに身の安全を図りましょう。具体的な行動は周囲の状況によって異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。



その他の行動例や緊急地震速報については気象庁のホームページをご覧ください。 https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/eew/koudou/koudou.html